

専攻	英語専攻	氏名	菅原 花
留学先	中央大学校	留学時期	2023 年度春学期(1 年間)
<p>留学中はなるべく外にでかけ、たくさん話し、誘われたイベントには行ってみることを心掛けた。思いがけない交流もでき、友達づくりにもつながった。韓国語の力は、授業に加え現地の人との会話で大きく向上したと思う。自分から行動することが大切である。中央大学校には世界各国から留学生が来ており、様々な仲間と生活する中で、他者を理解し、尊重する心が大きくなった。みんな優しく良い人ばかりで、日本が好きだと言ってくれる人もいて嬉しかった。1 年間の留学生活を通し、自分に自信がついたことは大きな収穫である。</p>			

専攻	地域共創学群	氏名	増田珠里
留学先	中央大学校	留学時期	2023 年度春学期(1 年間)
<p>留学中には体調管理には気を配り、自分に合った薬はぜひ持参してほしい。留学当初は、韓国語の授業を聞き取るのに難しさも感じたため、現地の録音アプリを復習に取り入れるなど工夫した。海外カードが使える現地通販サイトも生活に便利だった。大学には日本を好きな人が多かったのが嬉しかった。少しずつ韓国語が上達し、言葉が伝わる楽しさを知った。1 年間の留学を終え、勉強に対する姿勢が変わり、積極的に取り組むようになった。留学中に様々な経験をする中で自分自身の視野が広がったと感じている。</p>			

専攻	英語専攻	氏名	S.H.
留学先	韓瑞大学校	留学時期	2023 年度春学期(1 年間)
<p>留学計画を振り返ると、語学堂と、大学の施設や制度を最大限に利用するという計画を達成することができた。そのためには先生や学生との関係構築が不可欠だったので人間関係も充実し、より濃く充実した大学生活を送ることができたと思う。韓国の学校で、韓国の方々と過ごすという日常は、旅行では味わうことのできない日々だった。私自身の変化としては、自己主張や意見の表明ができるようになった。朝鮮する心や行動力も強まったと感じている。よりポジティブになったとも思う。異文化を通して考え方の違いなども知ることができ、留学はとても学びが多かった。私にとって一生の思い出になった。</p>			

専攻	地域共創学群	氏名	藪田 彩加
留学先	ボールステート大学	留学時期	2023 年度秋学期(半年間)
<p>留学の目的は、語学力の向上とアメリカの多文化共生を学ぶことだった。多国籍で多様な文化を持つアメリカに身を置く中で、文化の違いを受け入れて多様な価値観を尊重する力が身についたと思う。留学は精神的にも金銭的にも容易ではないが、とても貴重な経験ができた。留学を経験して、私は自己主張ができるようになった。日常でも自分の意見や気持ちを率直に表現することが要求され、授業でも議論が積極的に行われた。授業内容を理解した上で自分の意見を発信する能力が身についたと思う。プレゼンテーションの機会も多く、人前で話すことへの抵抗がなくなったことも成長の一つだと感じた。私はアメリカ人が相手の良いところを見つけて素直に伝えることができるところに非常に魅力を感じた。留学を通してポジティブになり、個性を大切にしたいと思うようになった。異国に身を置く中で、アメリカの良さを知ると同時に、日本の良さを再確認することもできた。今後は札幌大学に来る留学生の留學生活がよりよいものになるようサポートしていきたいと考えている。</p>			

専攻	地域共創学群	氏名	野村 柊友
留学先	ボールステート大学	留学時期	2023 年度秋学期(半年間)
<p>半年間のプログラムであったが、非常に濃い日々となった。キャンパスの施設も素晴らしく学びの環境はとてもよかった。ルームメイトにも友人にも先生に恵まれた。人をほめる文化があることが心地よく、また周りの人に気を遣わずにいることは自分にとってとても過ごしやすかった。様々な国の人と関わる中で、世界の情報についても生の声をきくことができた。自分から心を開いて、声をかけ、交流することが大切だと思う。留学期間中は一人で何でもやらなければならないため、精神面でも鍛えられた。留学に行って本当に良かったと思っている。</p>			